

高石通信NEWS

2017年
4月号

新年度が始まりました。新たなスタート、頑張っていきましょう。

さて、「ウイルスバスター」で有名な情報セキュリティ大手のトレンドマイクロが発表した「2016年年間セキュリティラウンドアップ」によると、2016年の国内のランサムウェア被害報告件数は前年比約3.5倍、ランサムウェア検出台数も前年比約9.8倍に増加したそうです。

「ランサムウェア」は感染したPCの操作をロックしたり、PC内のファイルを暗号化して復旧の代わりに金銭(身代金)を要求する不正プログラム、いわゆる「コンピューターウイルス」の一種ですが、これが猛威を振っている背景には、ランサムウェアを使ったサイバー犯罪が多くの犯罪者にとって「儲かるビジネス」として確立されたことがある、としています。

これは由々しき事態です。日本語のメールも増えてきているそうですので、更なる警戒が必要ですね。

さらに、同社の調査では国内の5社に1社がすでに被害に遭っていて、被害企業の63%は「身代金」を犯人に支払った、とのこと。

これはいけません。もし万が一、感染してしまっても、「身代金」を支払うことだけは絶対にお勧めしません。データを元に戻してくれる保障がありませんし、詐欺と一緒に、一度支払ってしまうと、再度狙われる可能性が高くなります。

「ランサムウェア」の対策としてお勧めしたいのは、感染しないように社内ネットワークの入り口で防御する「UTM(SS3000 IIなど)」です。

これは「統合脅威管理アプライアンス」とも呼ばれ、「ファイアウォール機能」「IPS(侵入検出、防止)機能」「迷惑メールブロック機能」「Webアンチウイルス機能」「URLフィルタリング機能」などでネットワークのセキュリティを高めてくれます。

また、感染してしまったときのため(だけではないですが)、定期的にデータのバックアップを取得しておくことも大切です。

サーバーだけでなく、例えば各PCにも、電源を落とすときに自動でサーバーにバックアップを行なう設定をしておけば、安全性は飛躍的に高まります。

新年度、社内ネットワークに不安のある方はぜひ、この機会に見直しをご検討ください。

それでは今年度もよろしく申し上げます！

ITはずっと使っていくものだから。

高石通信工業株式会社

埼玉県川口市芝4-2-4

TEL:048-269-0320

FAX:048-269-0330

電気通信工事業 許可番号 埼玉県知事 許可(般-28) 第52492号

<http://www.takaishi-net.co.jp>